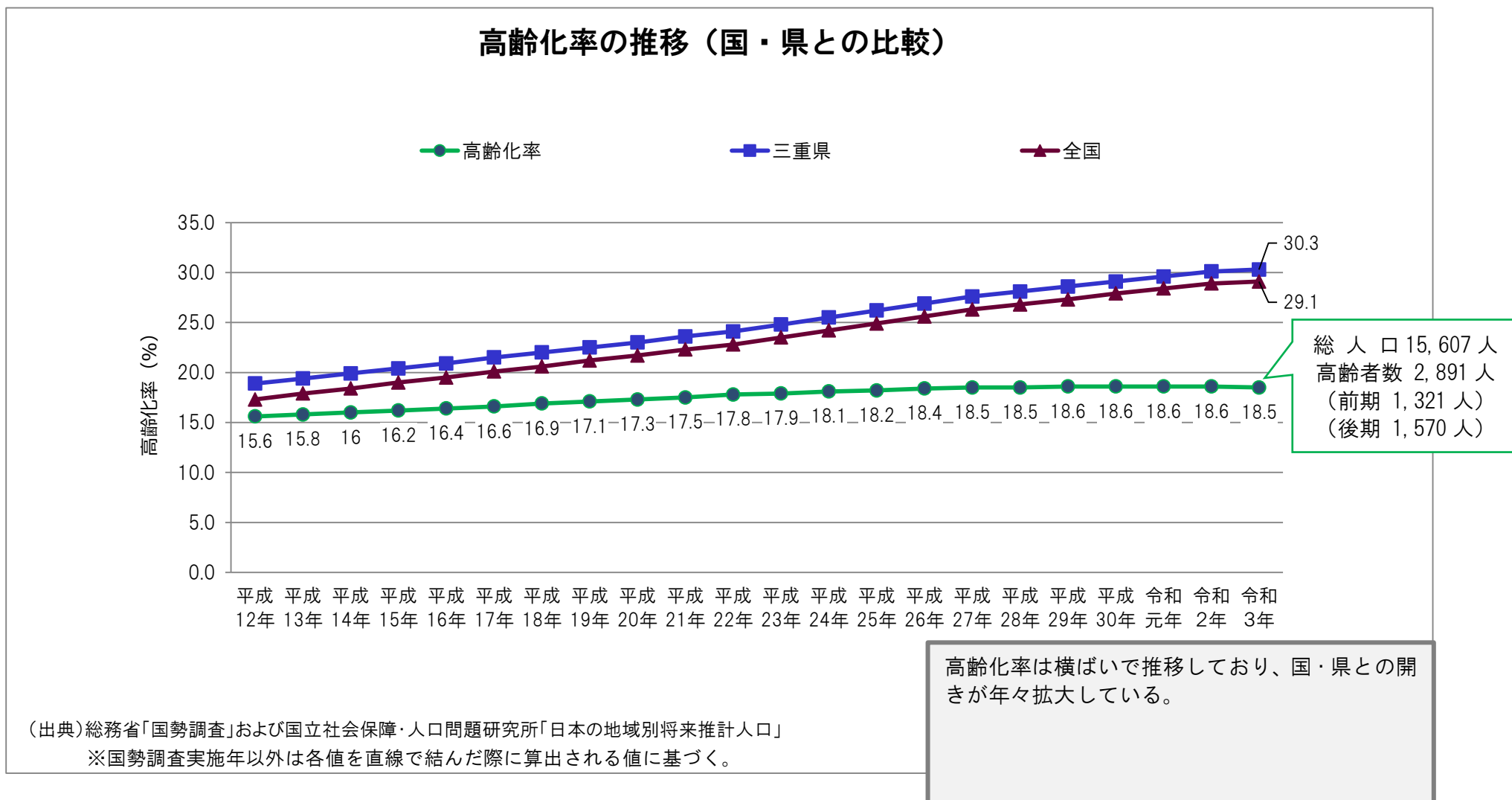


# 川越町介護保険事業の現状と分析（令和3年度中間）

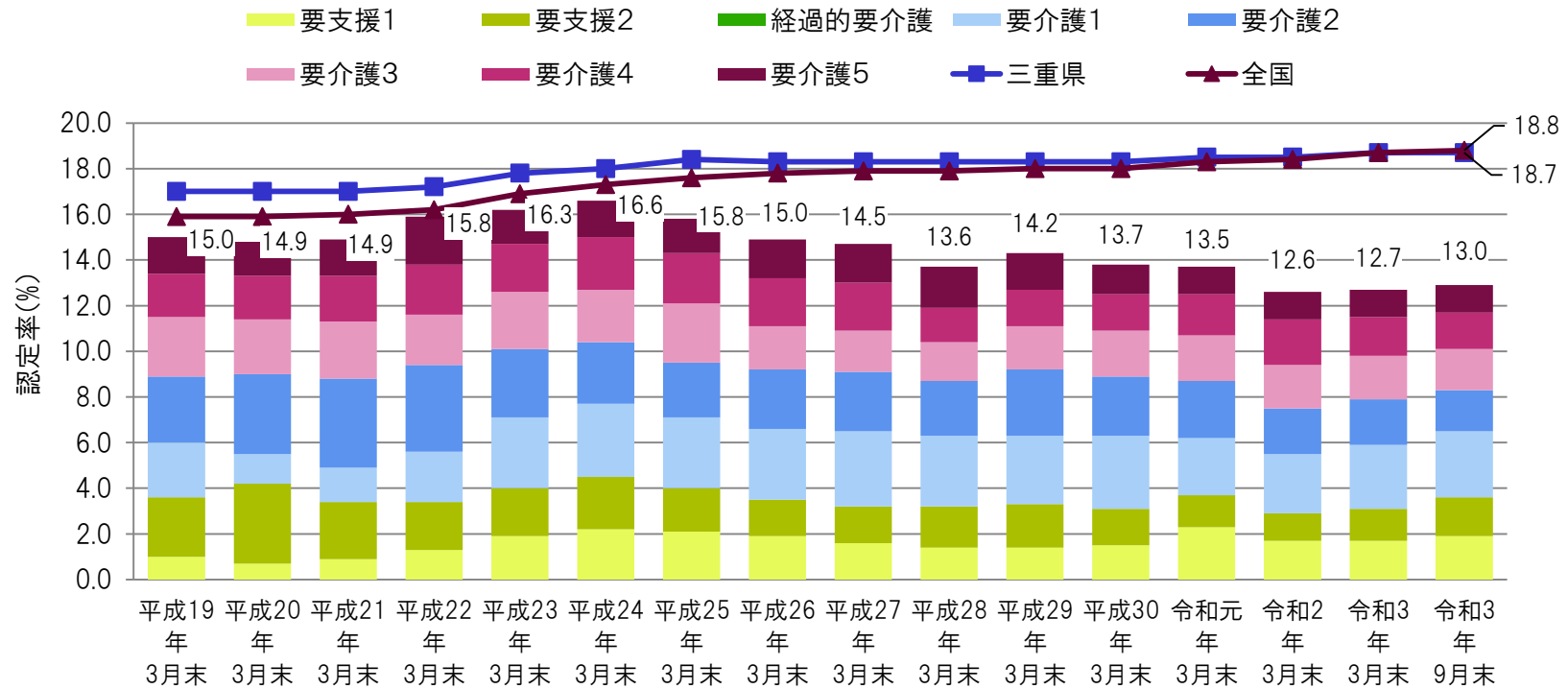
※令和4年2月時点の「見える化」システムにおける最新データを使用

## 1. 高齢化率の推移



## 2. 認定率の推移

### 認定率（要介護度別）の推移（国・県との比較）



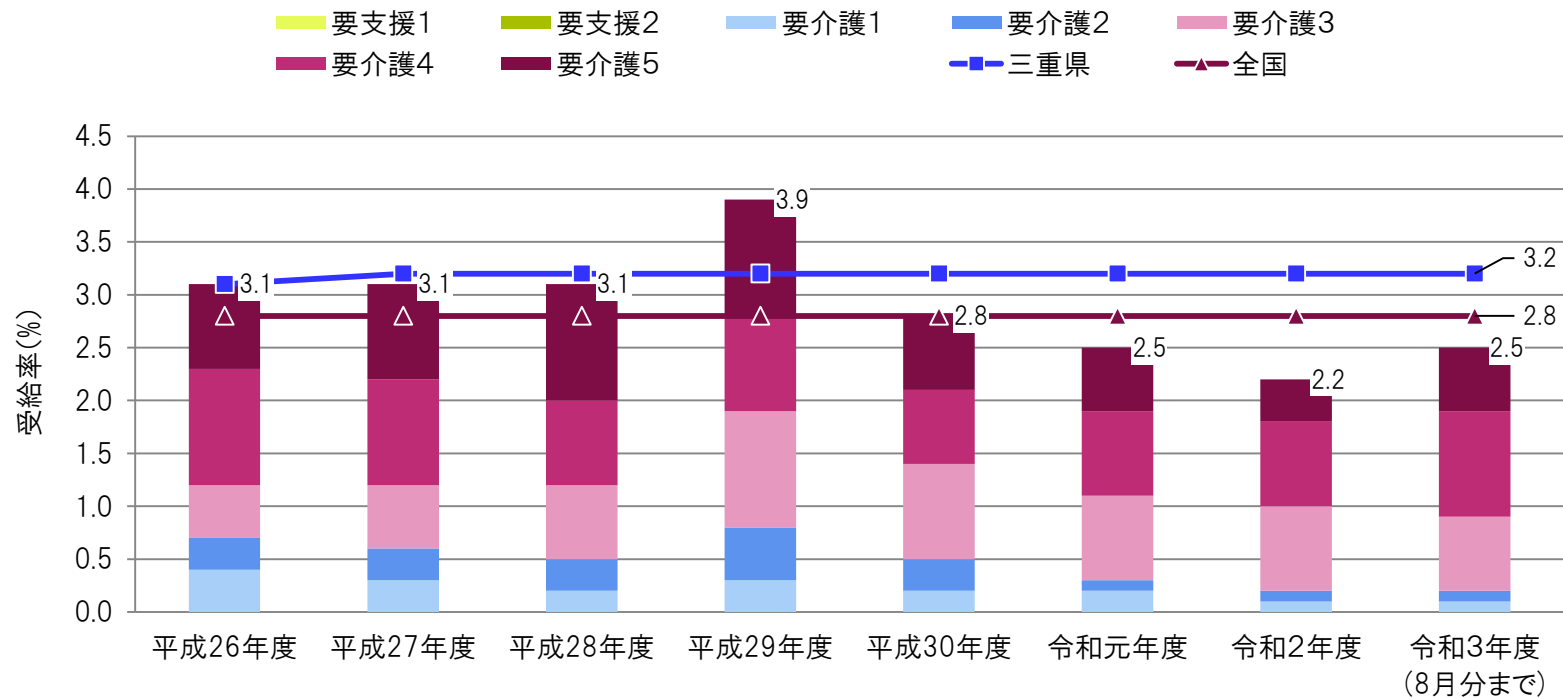
(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

認定率は、令和2年3月時点の12.6%から徐々に上昇しつつあり、令和3年9月には13.0%となっているが、依然、国・県と6ポイント近い開きがある。

### 3. サービス系統別受給率の推移

#### (1) 施設サービス

### 施設サービス受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

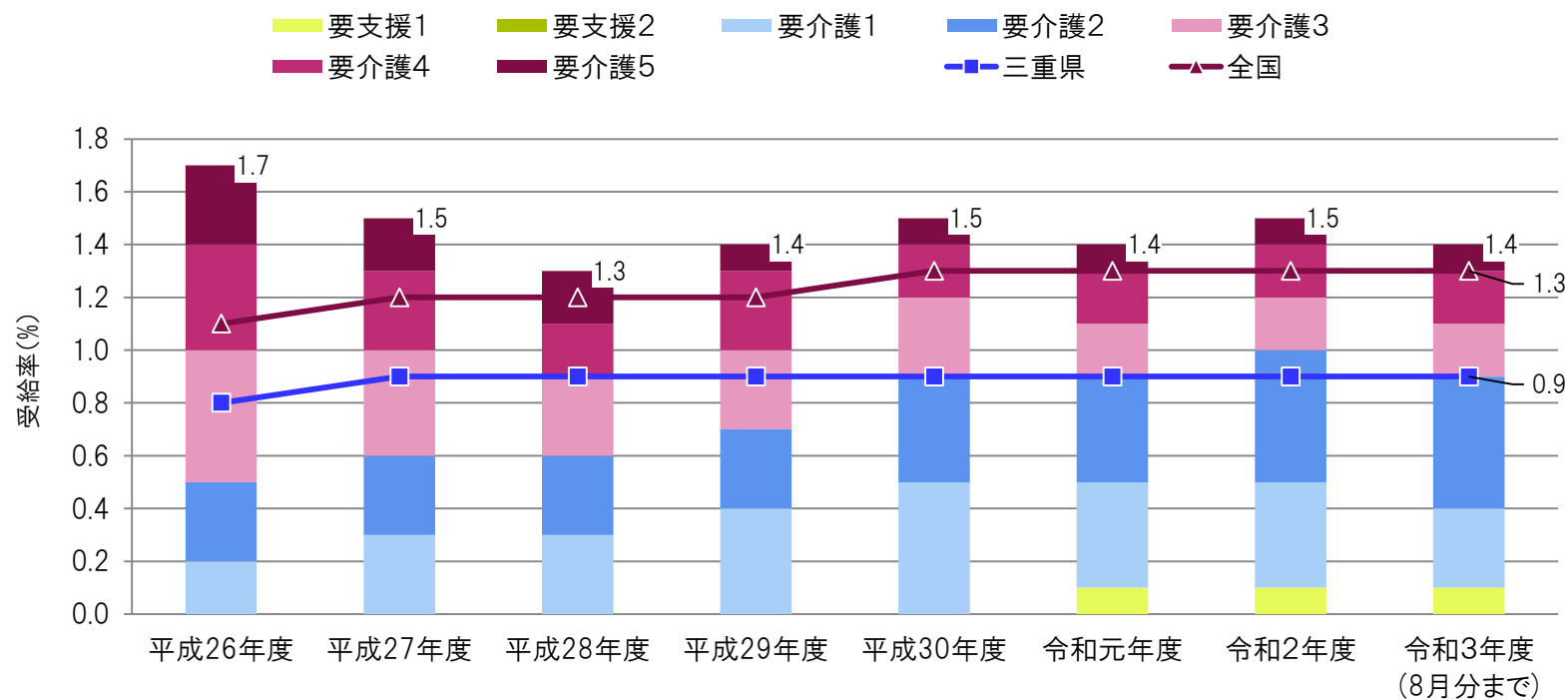


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

施設サービスの受給率は令和2年度で下げ止まり、令和3年度前半は2.5%まで上昇し、国・県の水準に近づいている。  
 (※平成29年度は地域密着型特養の異常値を反映していると考えられる。)

(2) 居住系サービス

居住系サービス受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

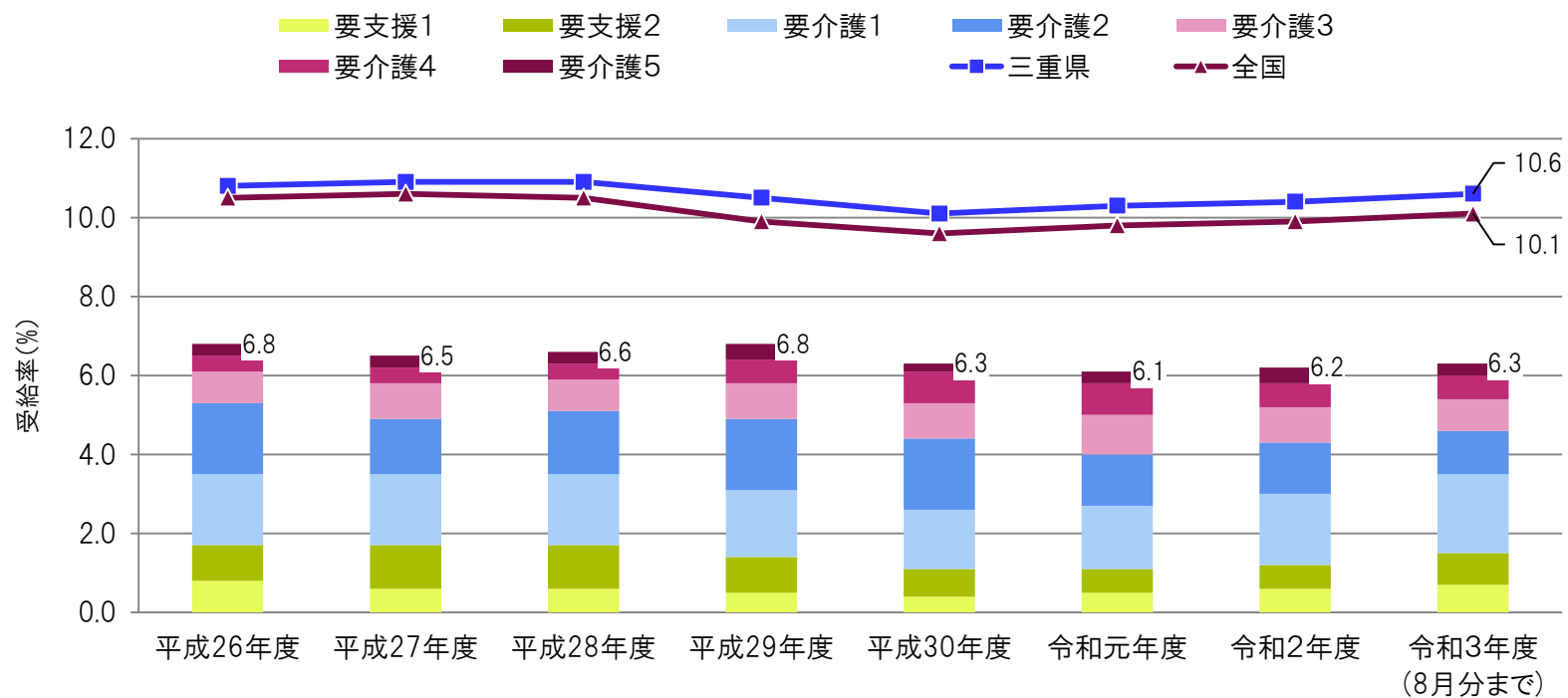


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

居住系サービスの受給率は国・県を上回って推移している。概ね横ばい傾向にあり、国の水準に近いが、県の水準とは依然0.5ポイント程度の開きがある。

(3) 在宅サービス

在宅サービス受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）



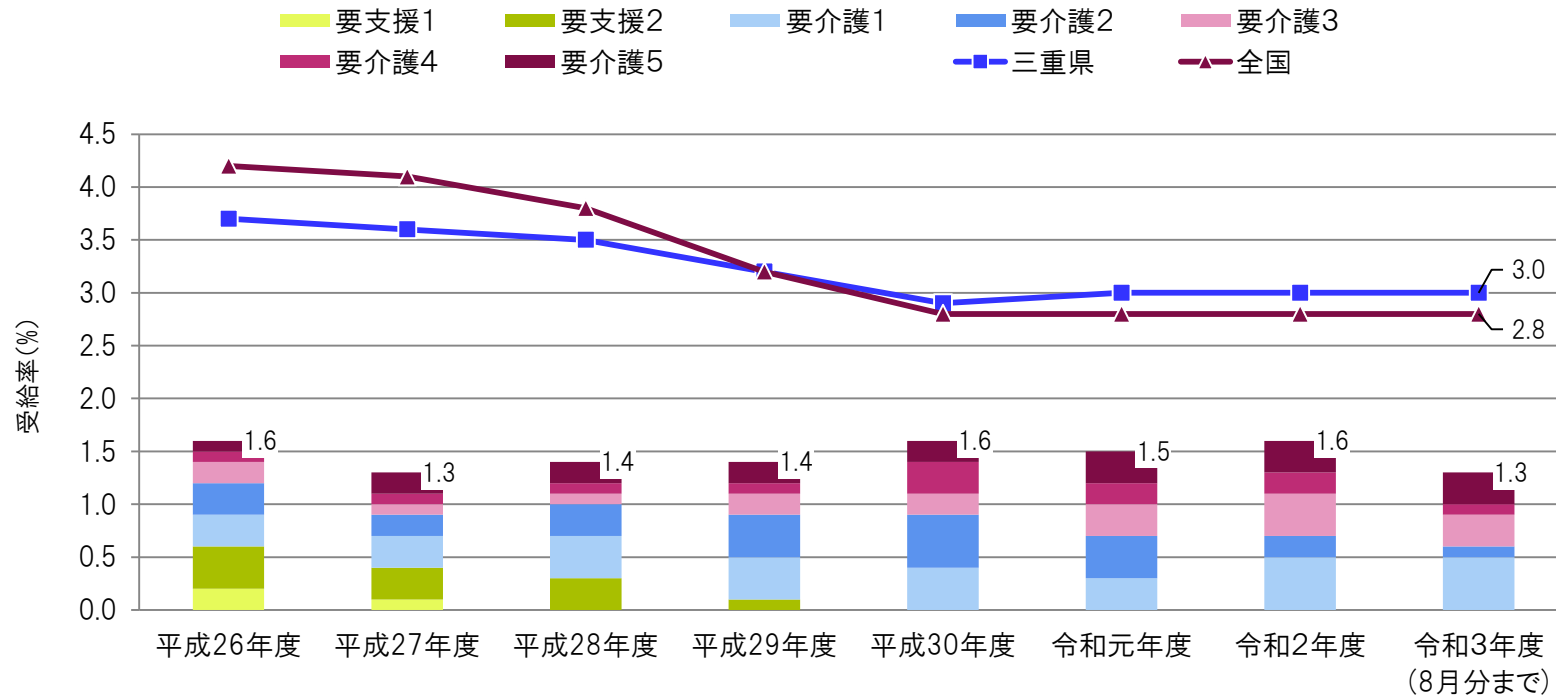
(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

在宅サービスの受給率は、平成30年度の総合事業の開始により要支援の受給率が下り、全体としても低下したが、その後は横ばいとなっている。依然として、国・県を大きく下回っている。

#### 4. サービス種類別受給率の推移（主なサービス）

##### (1) 訪問介護

### 訪問介護 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

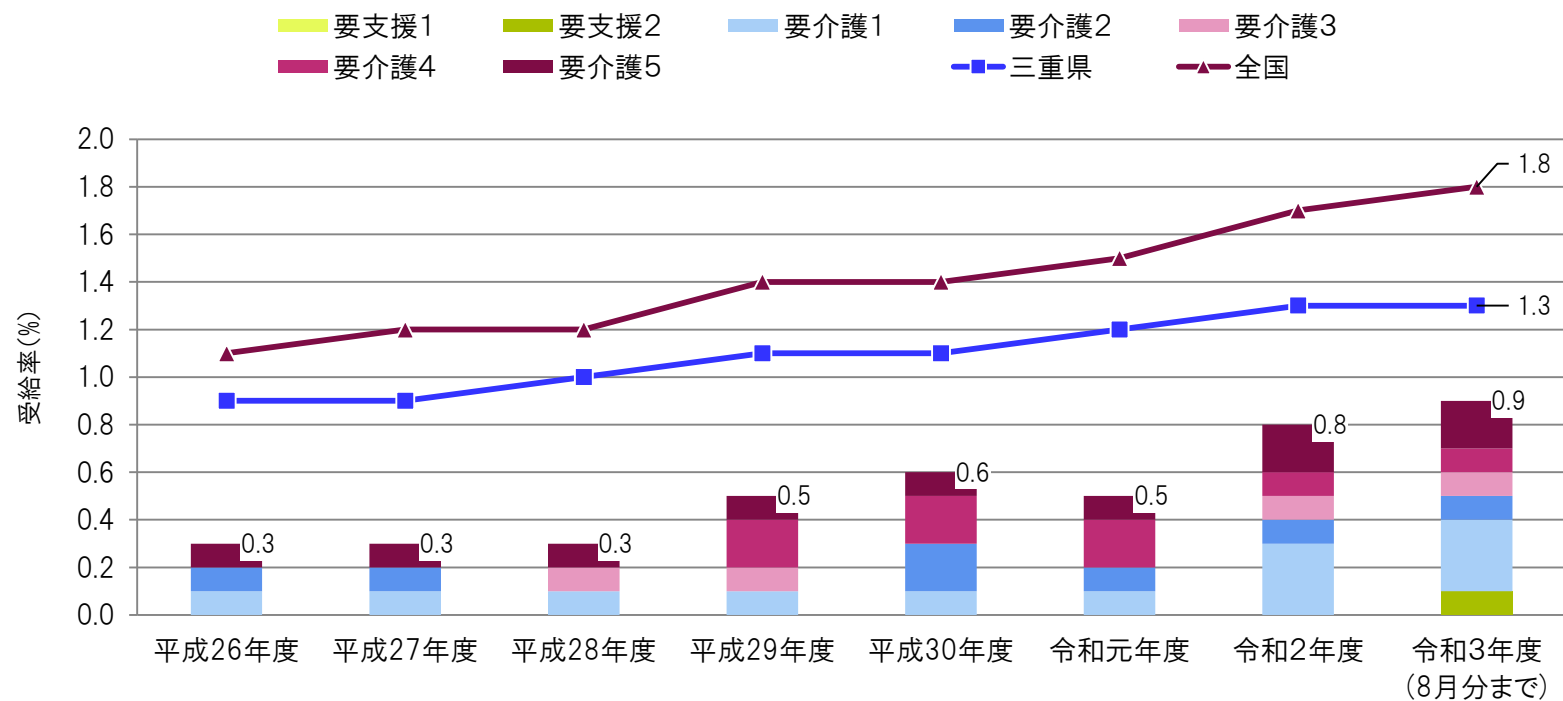


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

訪問介護の受給率は、国・県を大きく下回っている。総合事業の開始後も、川越町では要介護の受給率が上昇し、全体としては同水準で推移してきたが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、受給率の低下がみられる。

## (2) 訪問看護

### 訪問看護 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

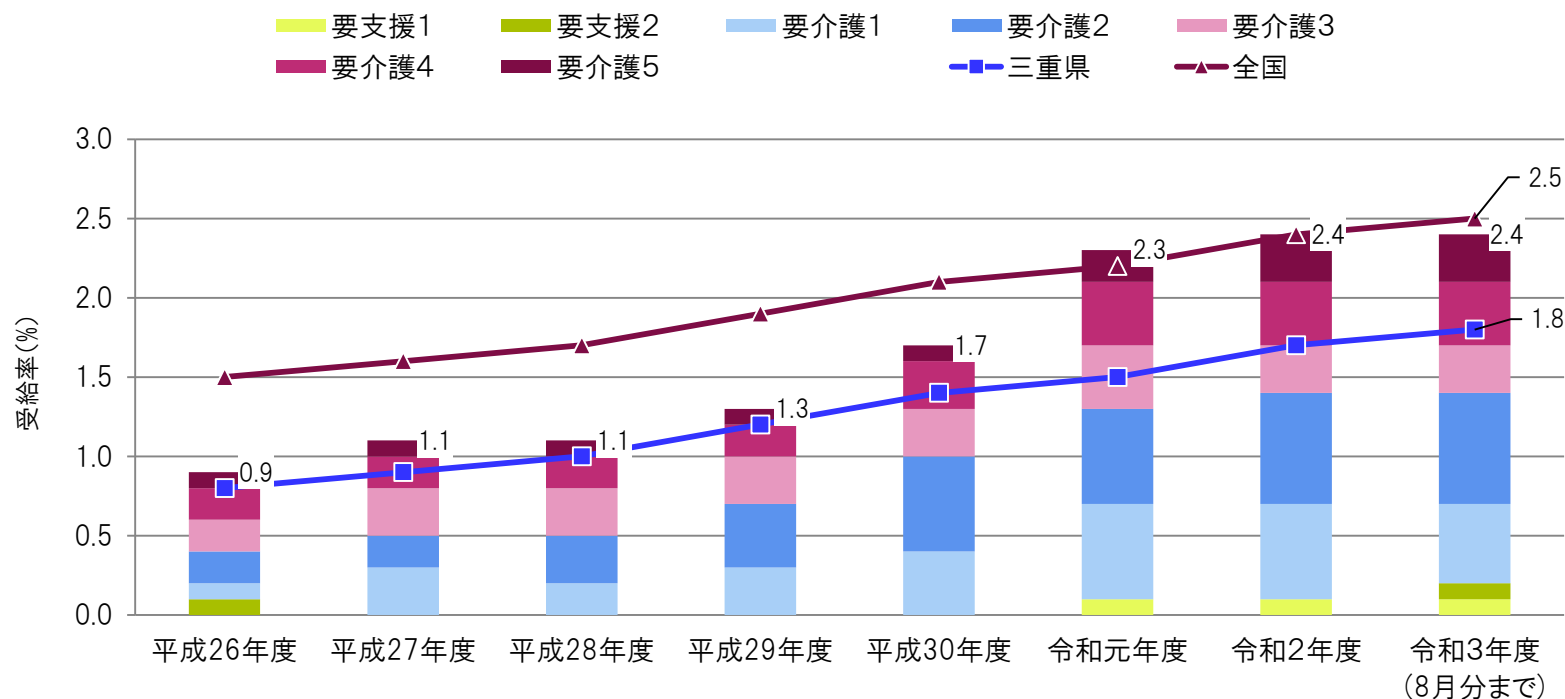


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

訪問看護の受給率は、国・県を大きく下回って推移しているが、国・県と同様、受給率が上昇する傾向にある。平成30年度から令和元年度にかけて低下したが、令和2年度、令和3年度と上昇傾向が続いている。

(3) 居宅療養管理指導

居宅療養管理指導 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）



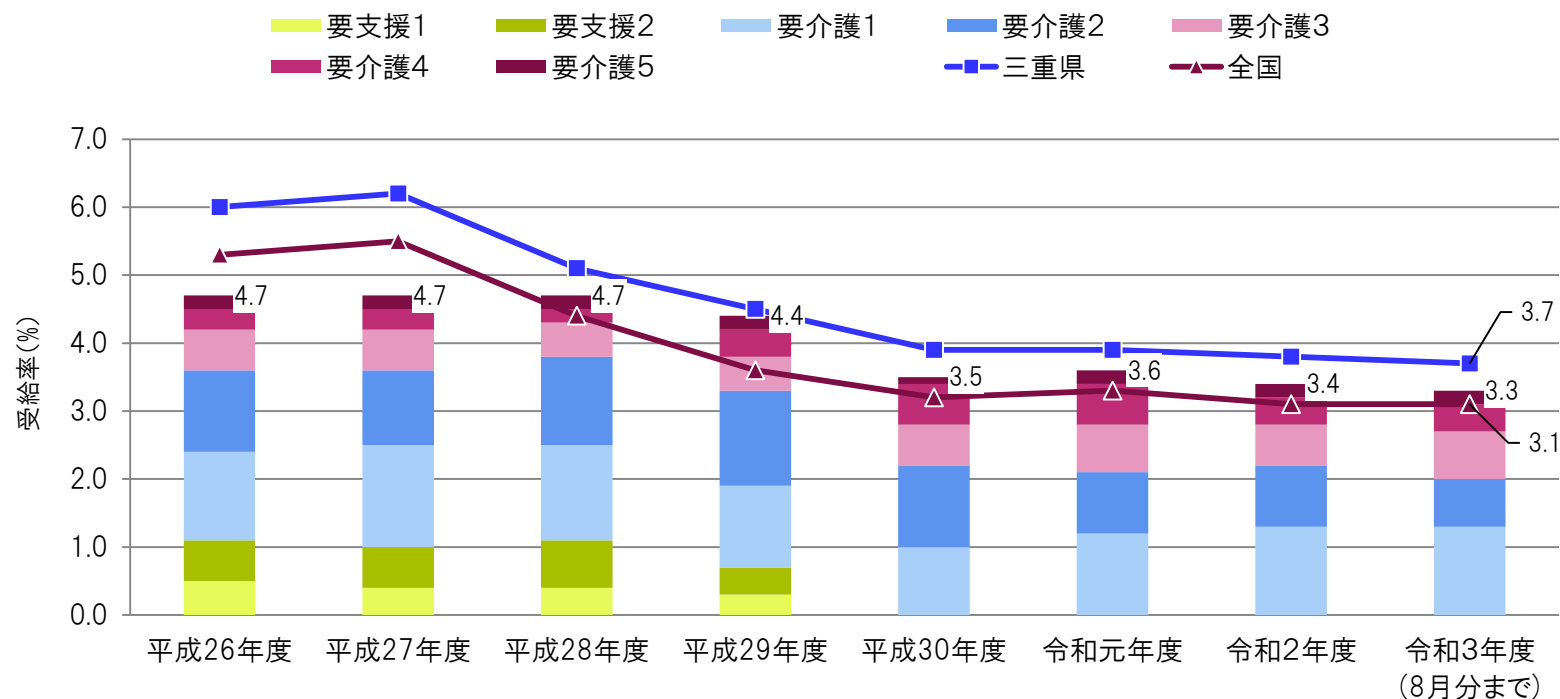
(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

居宅訪問管理指導の受給率は、国の水準を下回り、県と同水準で推移してきたが、平成30年度から令和元年度にかけて大きく上昇した。令和元年度以降は、国とほぼ同水準で横ばいで推移している。



(4) 通所介護

通所介護 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

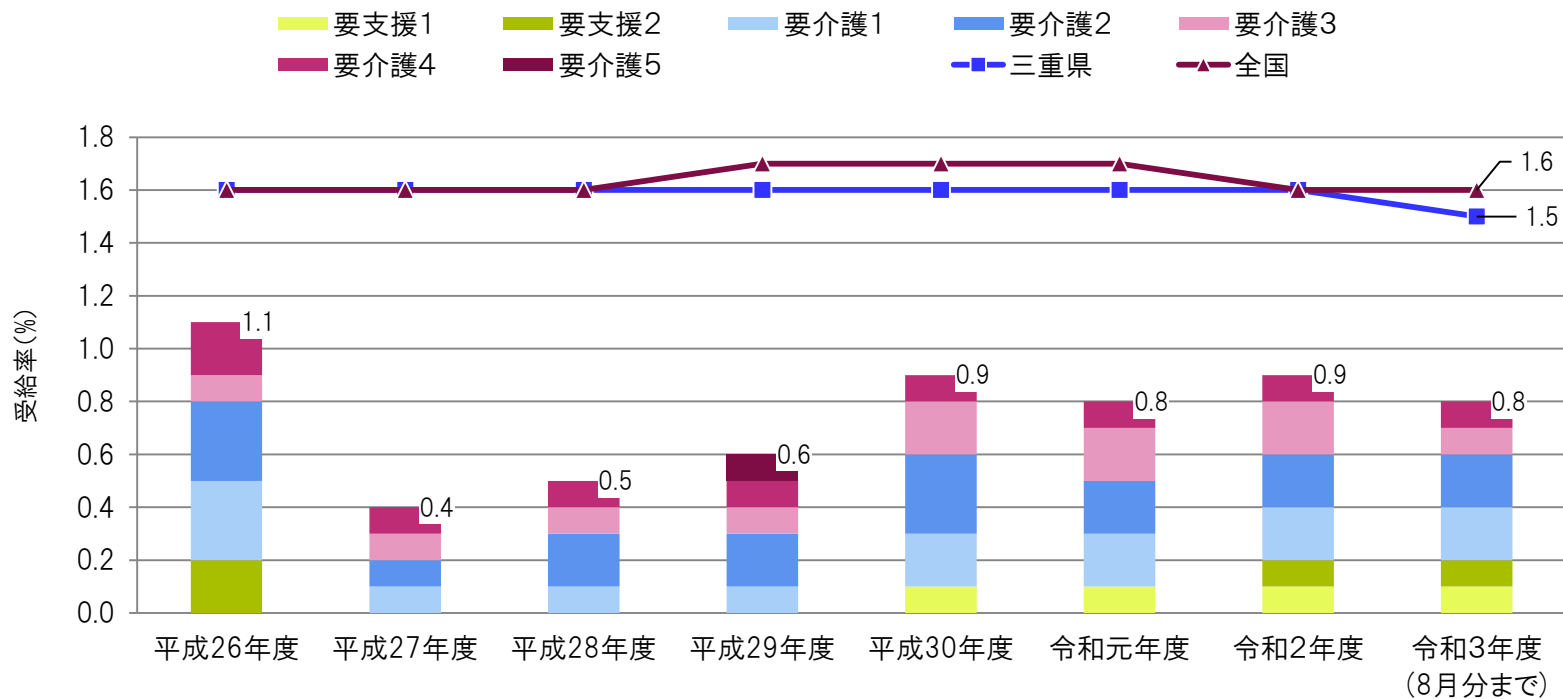


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

通所介護の受給率は、概ね国・県と同水準で推移してきている。平成29年度から平成30年度にかけて総合事業の開始により低下し、その後横ばいとなっているが、令和元年度以降、国・県と同様に、ゆるやかな低下傾向にある。

(5) 通所リハビリテーション

通所リハビリテーション 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

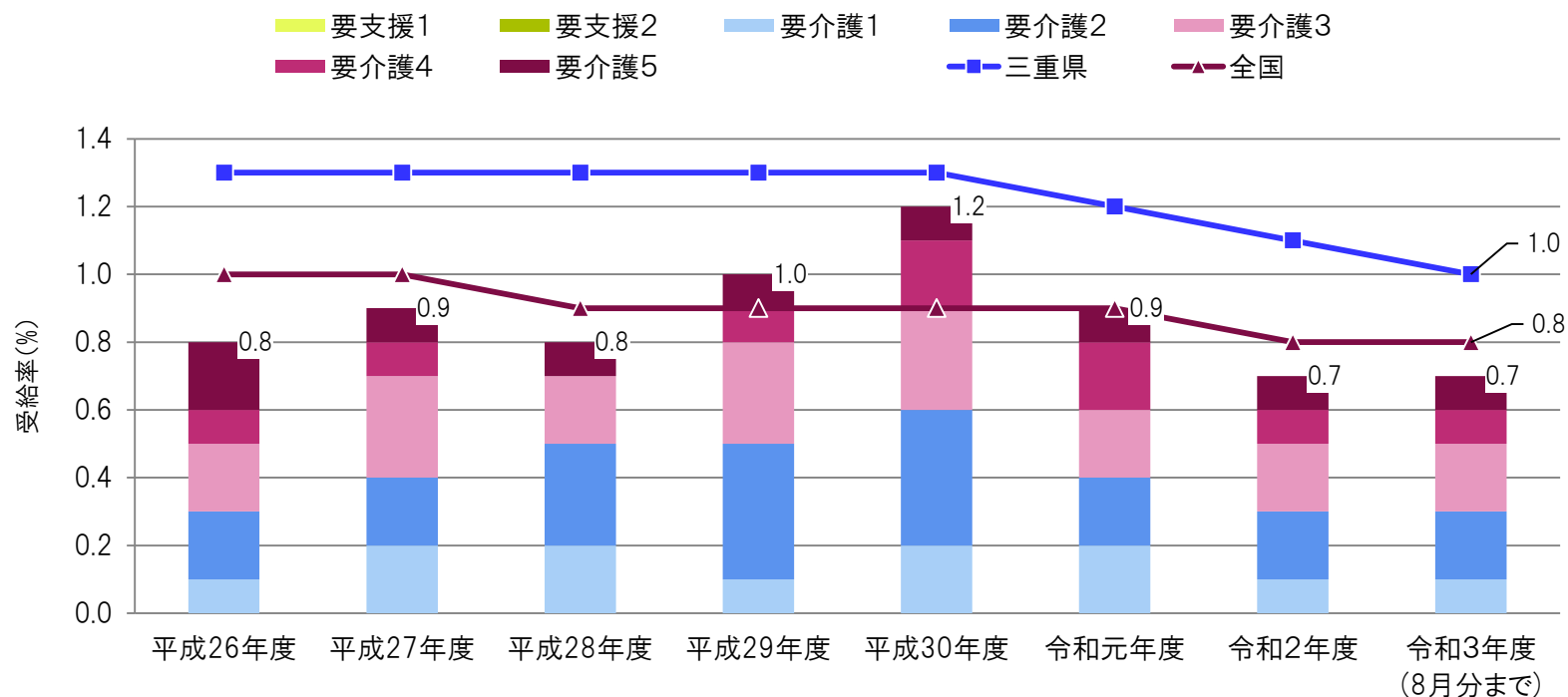


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

通所リハビリテーションの受給率は、国・県の水  
準を大きく下回っている。平成 29 年度から平成  
30 年度にかけて大きく上昇したが、その後は横  
ばいとなっている。

(6) 短期入所生活介護

短期入所生活介護 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）

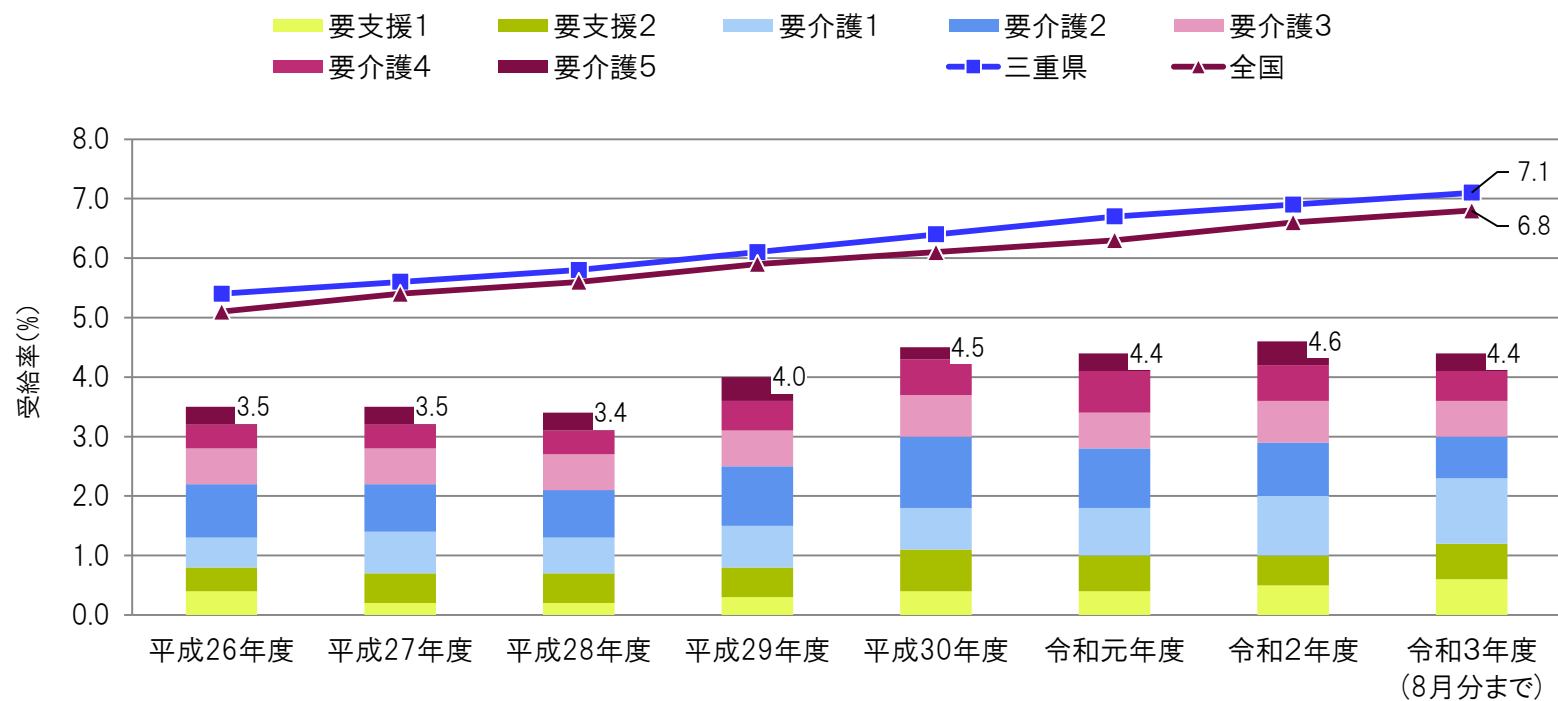


(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

短期入所生活介護の受給率は、平成28年度から平成30年度にかけて上昇し、国の水準を上回っていたが、令和元年度は再び国と同水準まで低下し、さらに令和2年度、令和3年度は平成30年度の半分程度の受給率まで低下している。

(7) 福祉用具貸与

福祉用具貸与 受給率（要介護度別）の推移（国・県との比較）



(出典)厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和2,3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)

福祉用具貸与の受給率は、国・県を大きく下回って推移している。国・県が上昇を続けているなか、川越町では平成30年度から令和3年度にかけて増減しており、横ばい傾向が続いている。